



竹林に

微睡む

Wu.Chang x Gardener
UnOfficial Fanbook

R18
成人向
For Adult Only

この本には以下の要素が含まれます。

- ★非合意
- ★スライム姦
- ★眠姦
- ★3P
- ★非公式の現代服捏造

竹林に
微睡む



エミリー

あんまり
よくないなの

エマ
メイメイの
調子はどう？



栄養剤は
あげているけど
そもその食欲が
でないと厳しいわね…

力不足で
情けないわ…



エミリーは
頑張ってくれ
ているの

諦めたく
ないなの…



：ウツズさん
メイメイを看病する
はだめよ

少し休んで
きなさいな

その間私が
メイメイを
診るから

メイメイを
よろしくね
エミリー

：わかったの

「魔法の筈」
なんて

ははは

ほんとうに
あるの？



さすがに
ないってそんな
非現実的な

でもこの隣の
竹林の奥に
なんか神社？社？
みたいなのあるじゃん

実際になにに
しても何かしら
もとなった話
があるんじゃない？

つまりめっちゃ
栄養満点の
奇跡みたいに旨い
タケノコのな？

普通に食べて
みたいよね

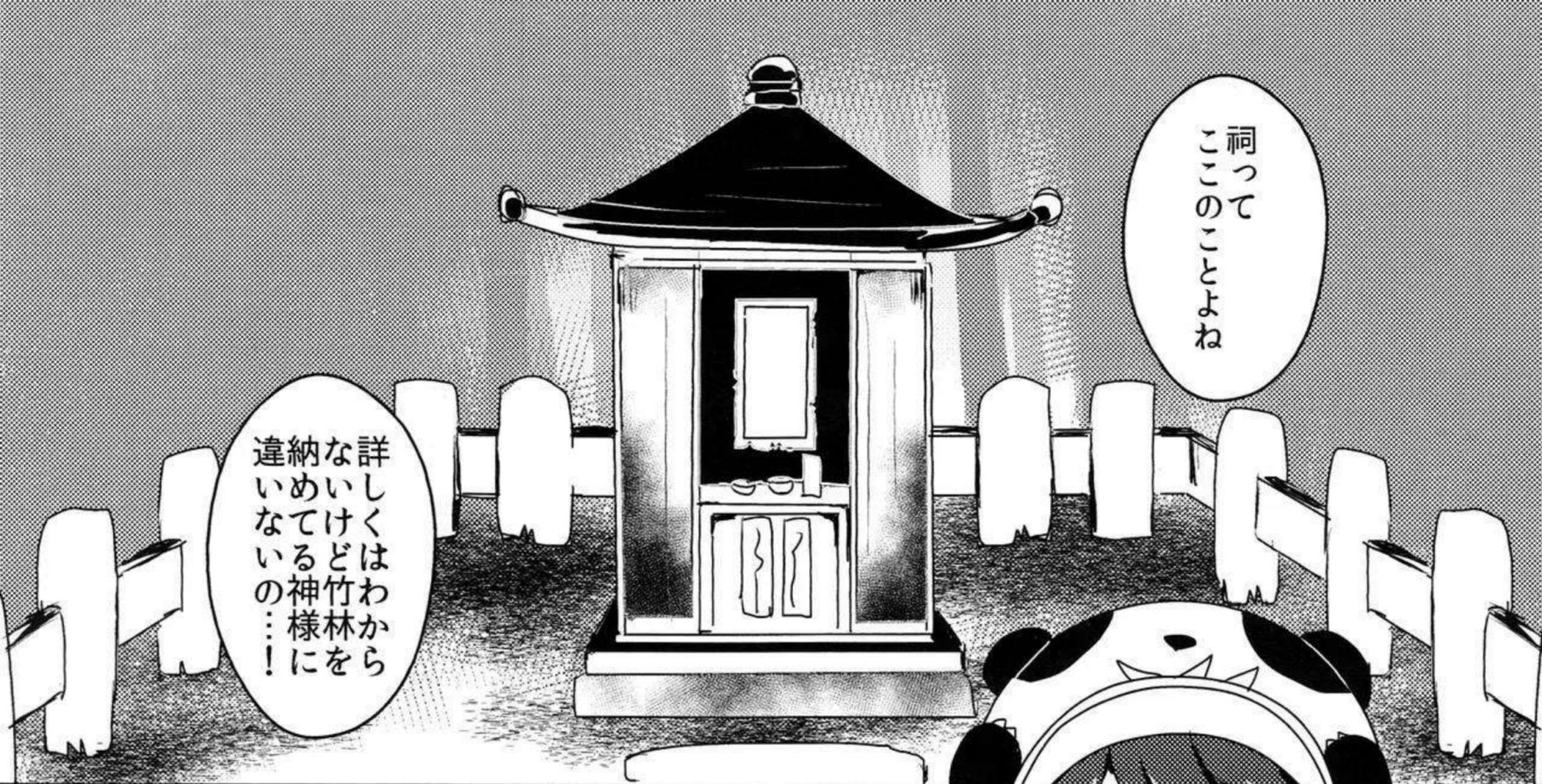
竹林の社なら
行ったことがあるの

この守り神様
かと思つて散歩がてら
何回もお参りにいつてる
もの

そんな魔法
みたいなもの
信じているわけ
ではないけれど

きつとそこに
生えている筈も
少しはご利益がある
もの

休憩だし
行つてみるなの！



祠って
このことよね

詳しいわから
ないけど竹林を
納めたいの…!!
ないの…!!



今の時期なら
筍もあるはず…!!



…神様
前にお話ししていた子
が今大変危険な状態
なんですの

絶対に
助けてほしいの



だから

あなたの筍を
少しもらっていく
ことをお許しください



そこにあるのは
普通の筍ですよ

えっ!?

こんにちは

足音とか
全然しなかった
の...!

独特なお洋服
だし...まさか
変質者さ

何か
失礼なこと
考えてません?

そう警戒
せずとも

貴女がここに来たとき
に話しかけて
いた...
相手が...です
ね私は

ひっ
ごめんなさいっ

でもこの人
どこかで...

...あ!

正確には

「私達は」
ですけれど

神様の
コスプレを…!?

すみませんよ

本人です

ほんにん

もう一度
言いますが
その筈

持って行っても
構いませんがよ
普通の筈ですよ

万能筈：魔法の筈
ではありませんか？
よろしいですか？

…知ってますの

エマは魔法の
筈をとりよきたん
じゃないですの

ただエマが

神様はエマを
見守ってほしいの

これはその
お守りという
願掛けみたい
な感じなの

あの子を精一杯
支えて助けて
あげられるよう
に決意をしにきたの

ふふ

貴女はそういう
方でしたね
エマさん

ありがとうございますの…？





えっ…!?

あれっ…!?

貴女の笑顔が
この先も
絶えませんよう

貴女の望みは
私達の望みでも
あるのですから

大丈夫
すぐに元の世界に
お返しいたします



私達もお祈りを



なんでキス されてるなの!?

口の中 そくそくする なのッ……!

なになに なにっ!?

じりるるっ

ちゅっ



急じゃなければ
よろしいの
ですわね

あつあの…
さつきみたいに
急なのは…

そつそういう
意味じゃな

無咎

こちらへ

よく来たな
エマ



いえいえ
急にすみませ
ん
で恥ずかしく
なりました

でもこれも
私達が貴女を想
う
故の行為なの
です

あと少しだけ
付き合っただ
け
ませんか？

あと少し…？



待ちわびた

俺は范無咎
という

必安と二身一柱の
片割れだ

ふあん
うじんさん…？

…
無咎でいい



ちよんちゃん

私達にもう少しだけ力をください

…へ？
あの……！

先ほども申しましたが私達は日々話しかけてくださる貴方の手助けを



あつおい必安
次は俺……

…まったく仕方ないな

わかっていただけますね？

!!

ああ

そうだ

なら俺は此方をもらうぞ







施設の入り口…？

え…
こっちは…



歩きながら!?

エマ眠くて…
記憶…

あれ…

夢…？

時間もそんなに経ってないし…



そうだ筈を
とりに行って…

ちゃんと
採ってきてる
なの…



わあぁあぁん
ぜんぜん
わかんないの！
疲れすぎなの！
早く部屋戻って
寝るなのー！！

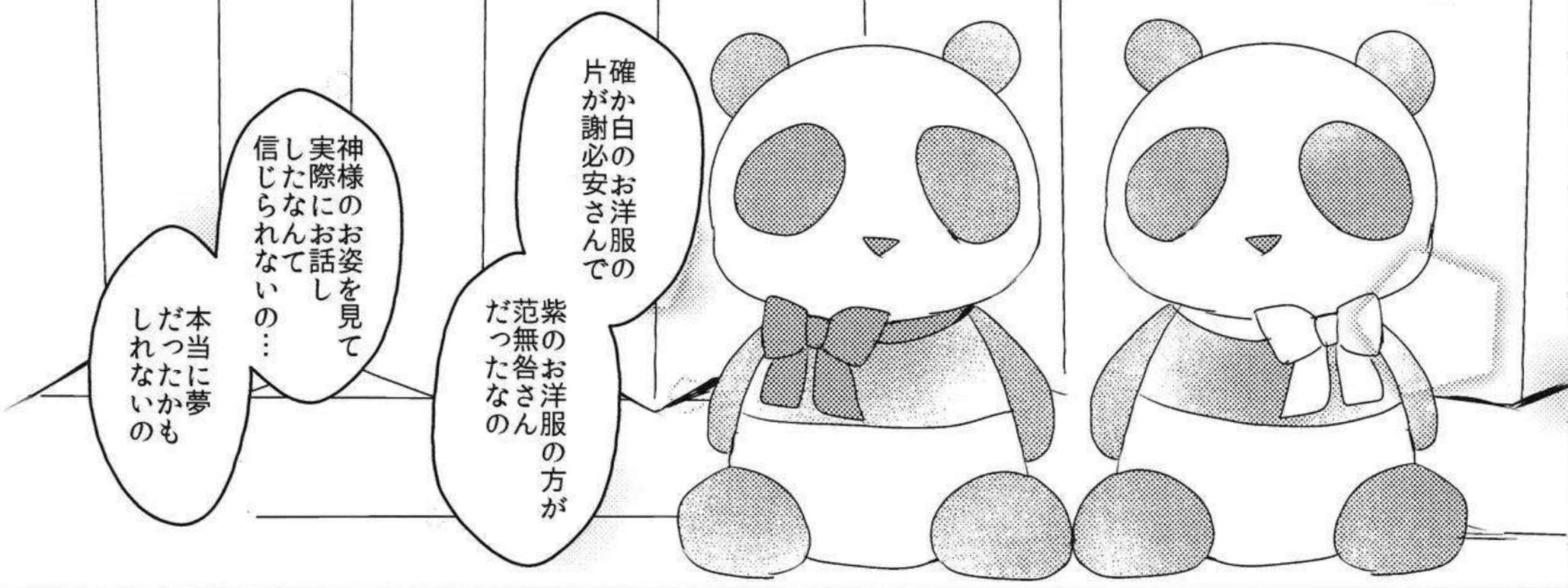


でも…あんな…
えっちな夢…！

なんで…！

メイメイの食欲が
出てきたみたい





確か白のお洋服の
片が謝必安さんで

紫のお洋服の方が
范無咎さん
だったなの

神様のお姿を見て
実際に話して
信じられないの…

本当に夢
だったかも
しれないの



でも

ちゃんと
いつもママの
お話を聞いて
くれてたと思うと

すこく
嬉しいの…



なんかえっちな感じ
だったのは
何かの間違い
なんだろうけど…

二人がいくら
かよよかった
からってママそんな
面食いだっただのかしら…



必安さん
無咎さん

あのね

今日
メイメイが



ハマん

ハマ

あれ…!?
なんでここに

えっ…!?

……
謝必安さん…?
范無咎さん…?



また
会いましたね

部屋で寝てた
はずなのに

いつもの
作業着なの…

また夢
なのかしら

臥していた
パンダに回復の
兆しがみえたとか

はいなの！



あのね！
この前二人が
くれた筈で…

ふふ

そうですか

だがそれは
俺達は何かした
わけではない

お前の努力の
賜物だ

エマは本当の
何もしてないの

エミリーや
他の保育員さんが
頑張ってくれたなの！



お前の願いは
絶対に叶うさ

…!?また…

そう
ですとも

貴女がいつもと
変わらば努力を



!

そんなこと
はない

エマ

お前が俺達の
ところに来たの
すべのはじまり
だから

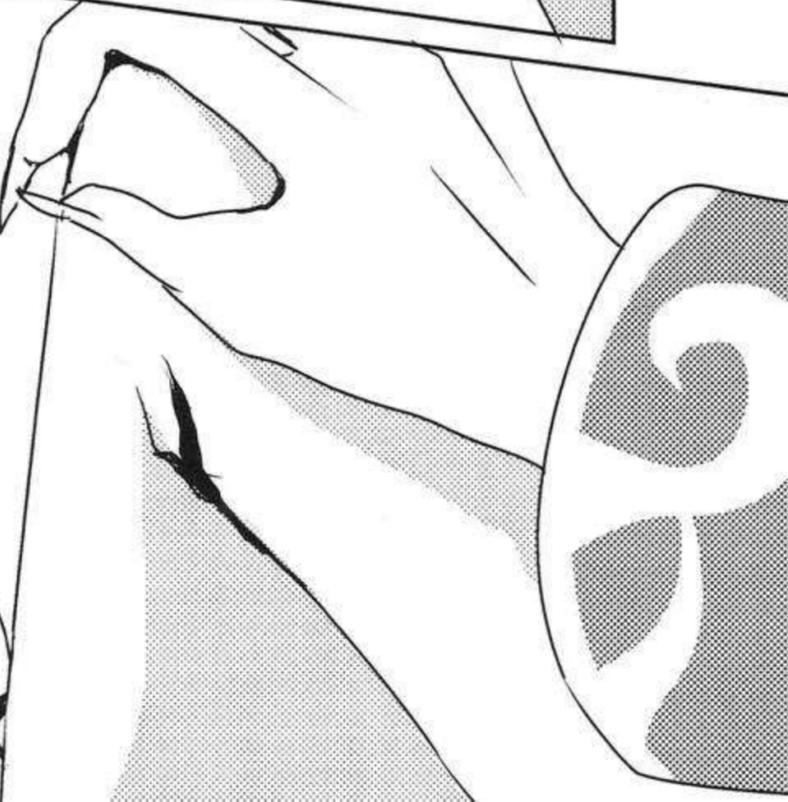


……ッ



どっぴろっぴろっ…

やめてって
いけなきや
いのっ…



抵抗
できないの…



ちよつと
嬉しいけれど…

夢の中で
二人に会えるのは

続けてこんな
夢を見るなんて

それから



エマ…また
あんな夢を…!?

エマ欲求不満
か何かなの!?
恋人なんて
いたこと
ないのにつ





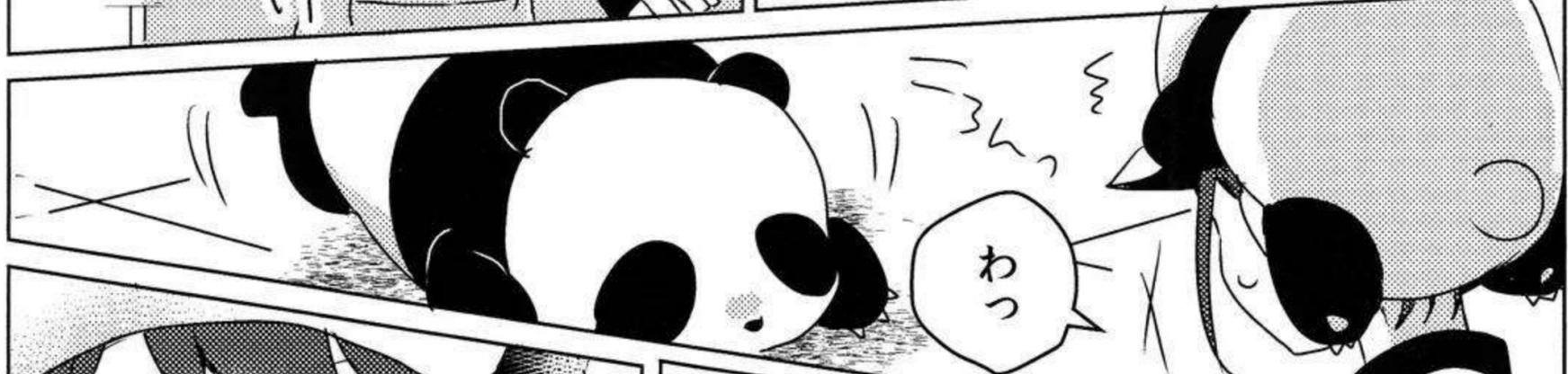
おくに
ほろろ...
なん...
はっ
もっ
せつ...

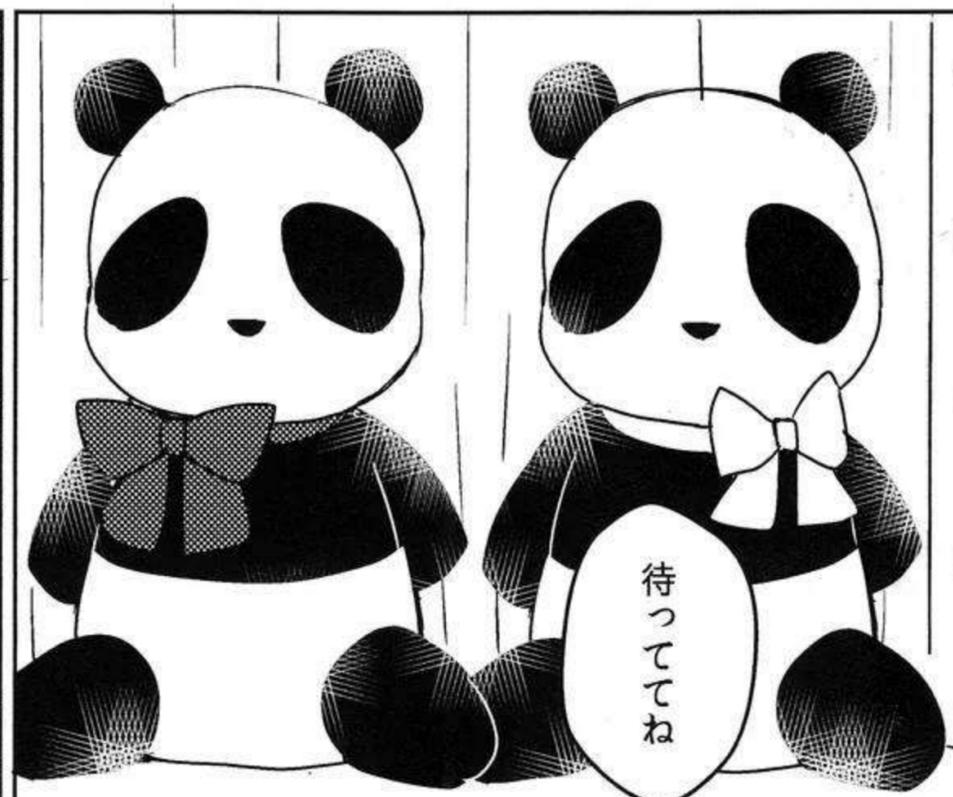
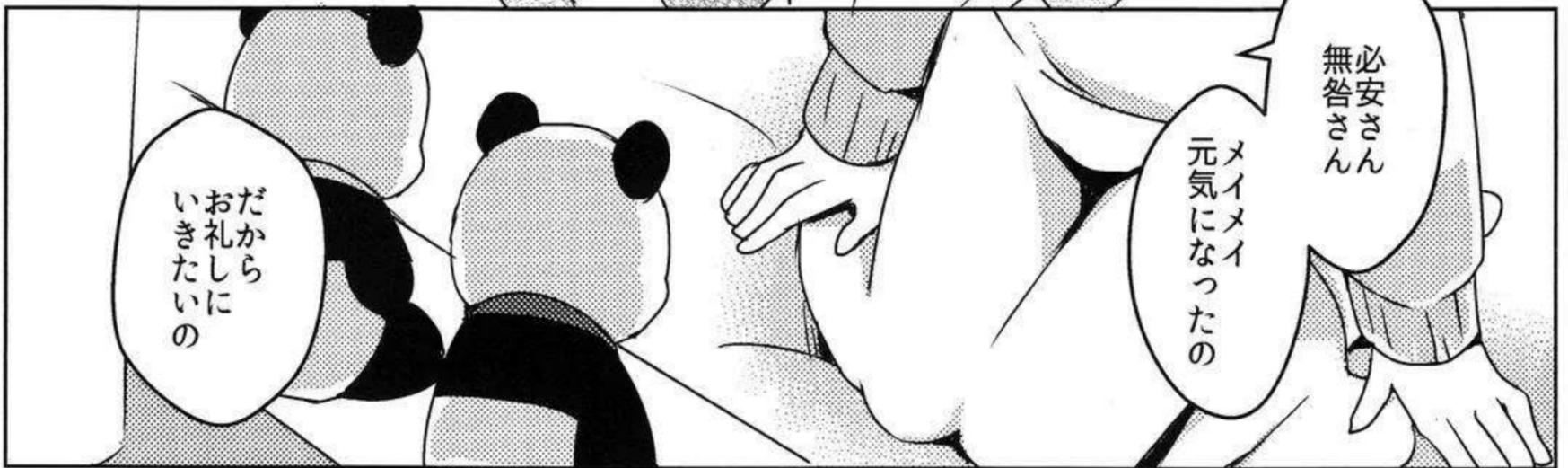
ほろ
はっ
もっ
せつ...

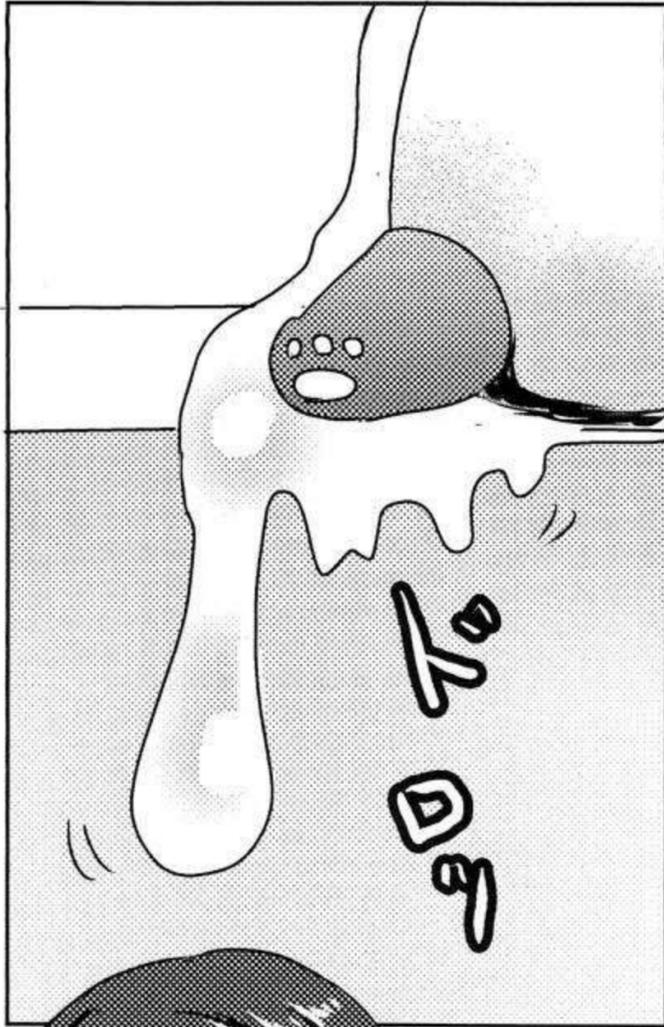
二人のこと
考えすぎて
どうしても
夢を見ちやうのか
それとも...

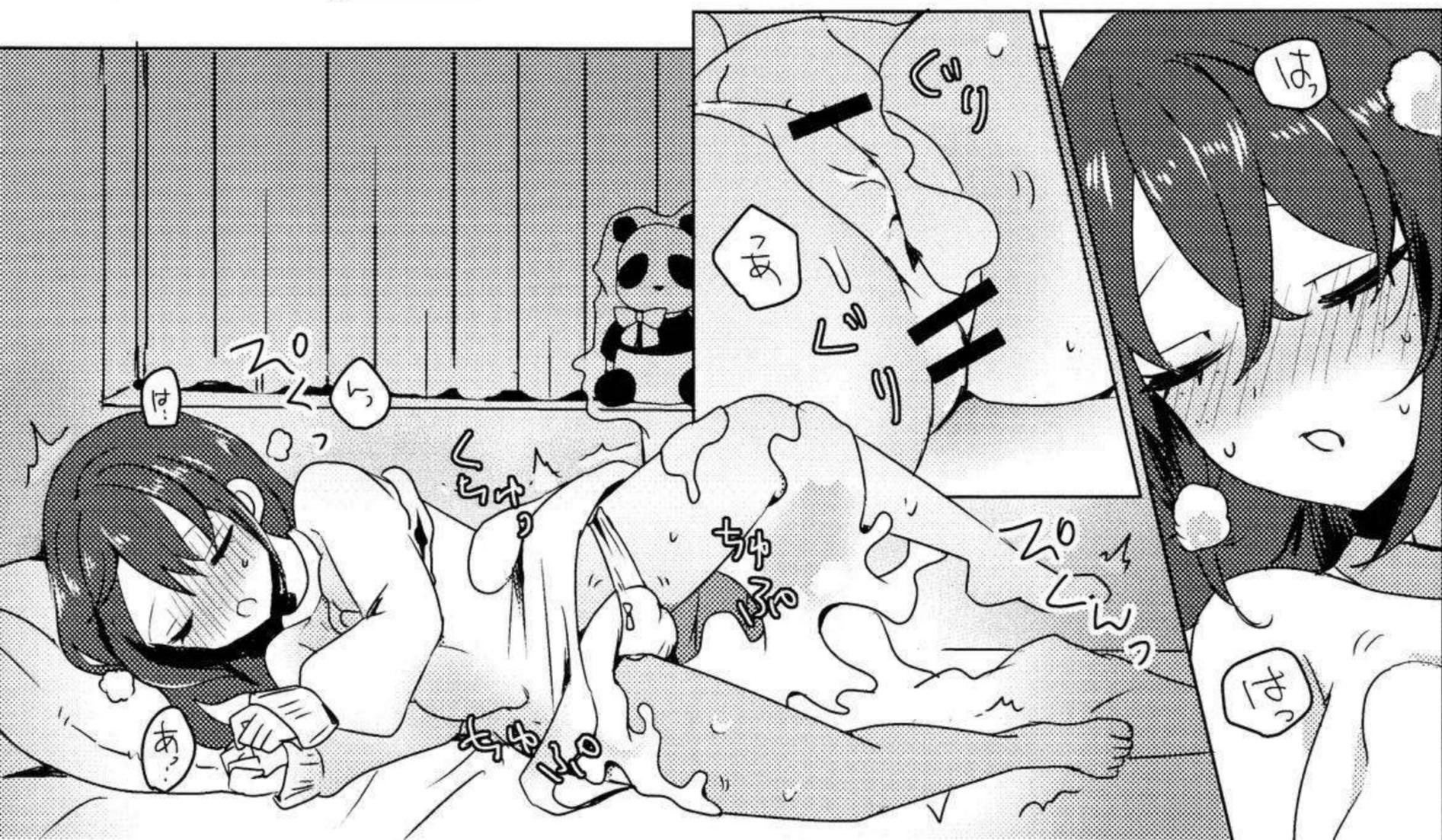
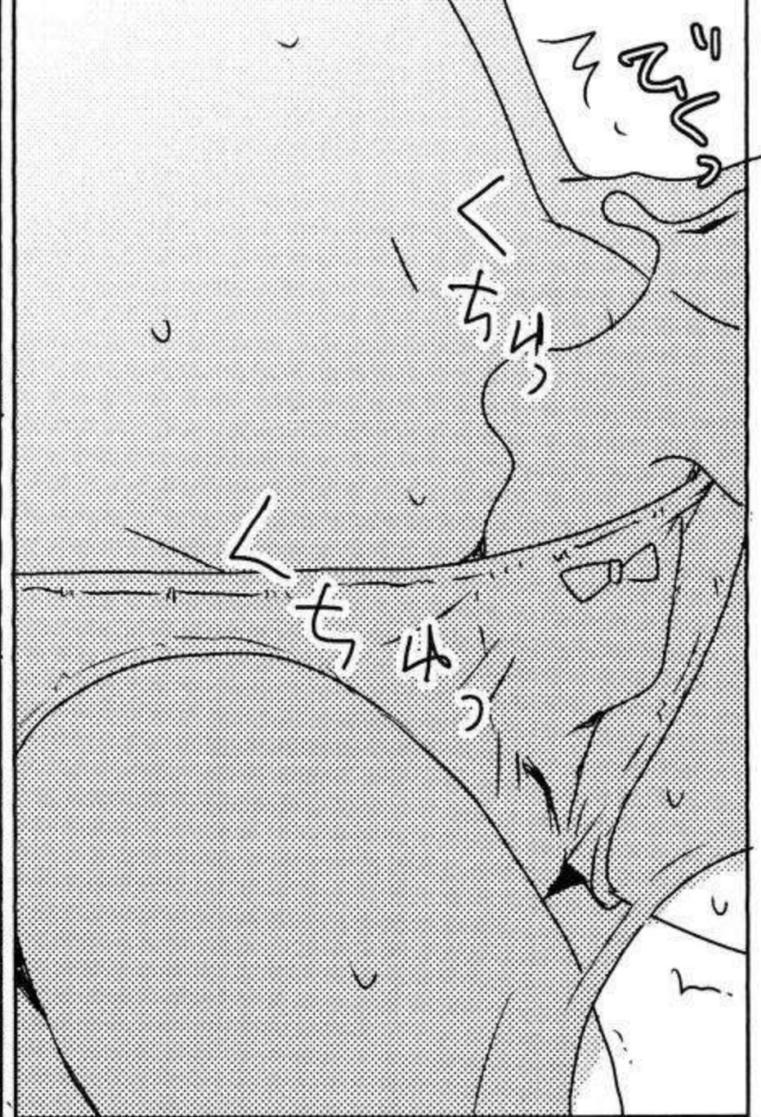
やっぱり
パンダのぬいぐるみ
に話しかけた時に
ああいう夢をみるの...

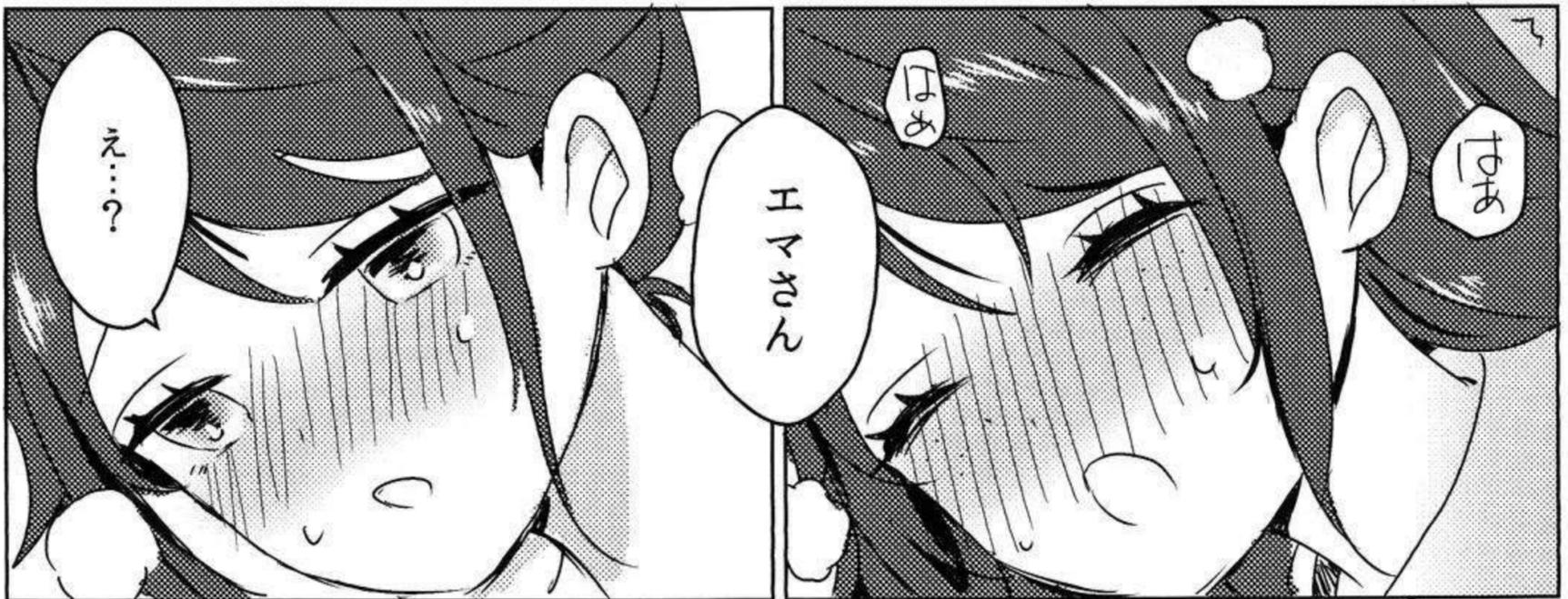












愛しています
愛している

もっと深く

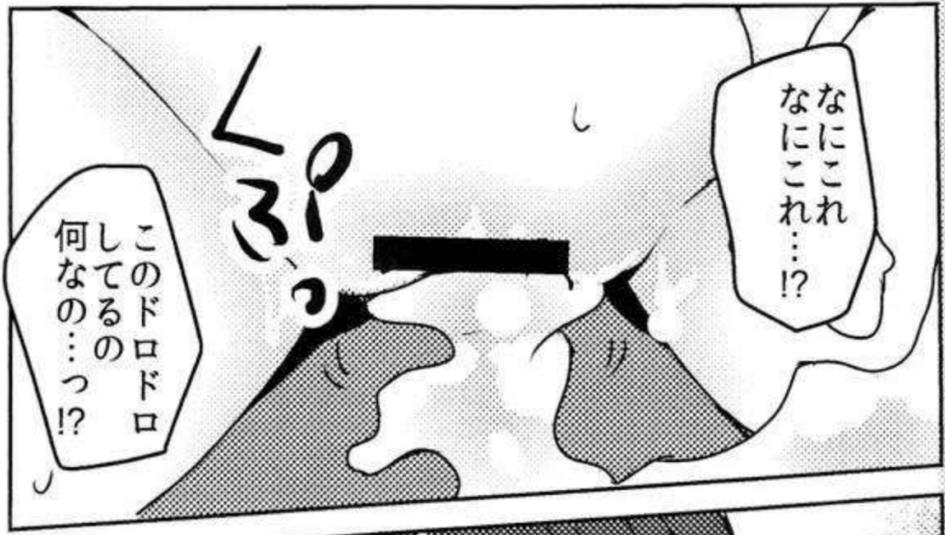
触れさせて

心も身体も
我らのものと
なつてほしい

は

い







びびっ...
びあんさ...!?

ようやく貴女の
身体の最奥に
いくことができました!

ああっ!

キョウ...

キョウ...

許してくださって
ありがとうございますっ



あなたが
私達を
求めてくれるように

貴女が
私達に話しかけて
くださる度

貴女の全てへの
愛おしさが
増すばかりでした!

身体全てで
私達を受け入れて
くれるようにっ

はぁん
はぁん
はぁん
はぁん

はぁん
はぁん

はぁん
はぁん

はぁん

はぁん



私達は時間を積み重ねてきたのですから!

あ
あ
あ
あ
あ

ナカに...
だされちゃった
なの...



こんなの
しらな...!



俺も早くお前の最奥に入りたかった

受け入れてくれるな?

無咎さん...?

エマ



ズン

ズン

た

あつて...
まだ...!

びあん...
.....

はっ

はっ

はっ
はっ

あ

はっ

はっ
はっ



ツ



愛しているんだ

好きです

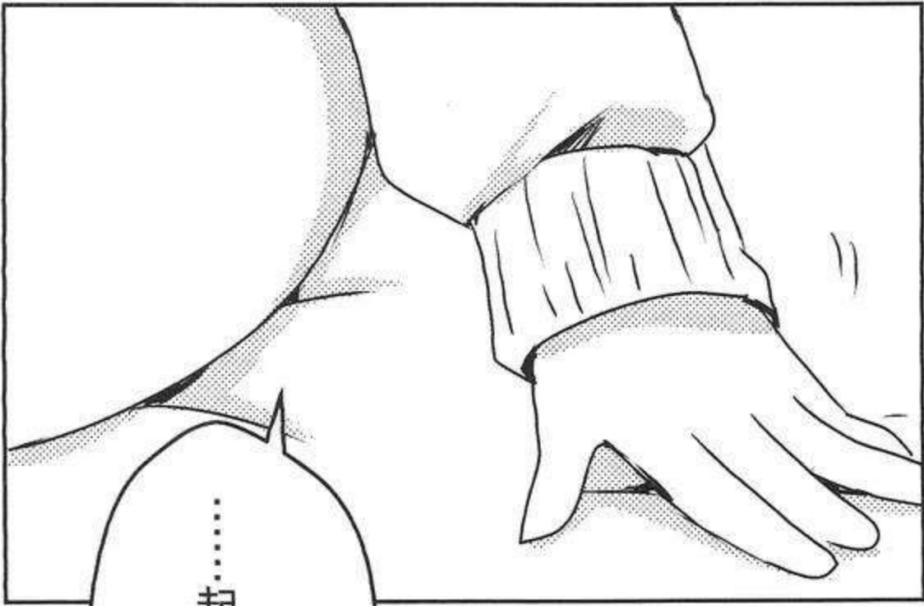
エマ
どうか我らと
共にあつてくれ



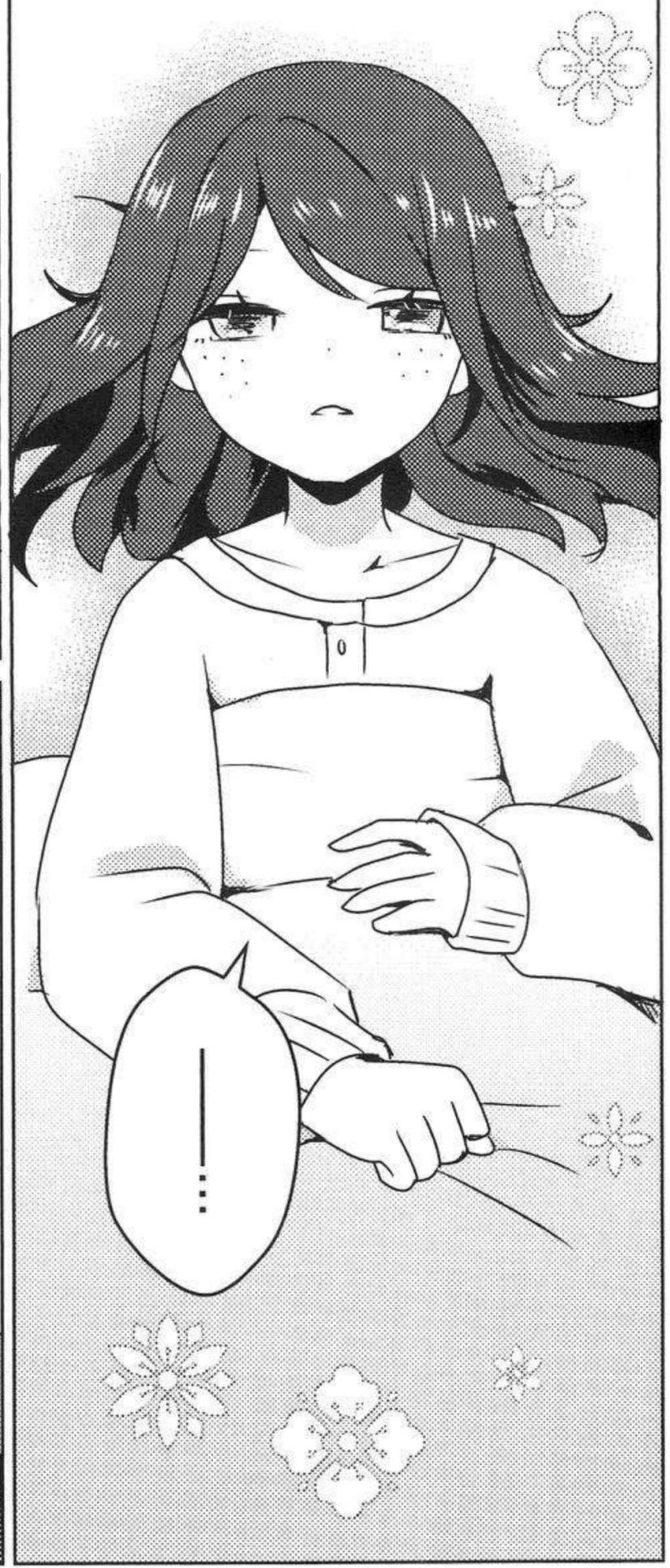
こんなに

……
すき……

家族以外に
いわれたこと
ないなの……



……起きなきゃ……



……



ツ……!

ツ……!



あっ



神様がエマなんかを
好きになつてくれる
なんて信じられないけど

あんなに繰り返して
好きついでにわれるのも
はじめてで嬉しくて

でも

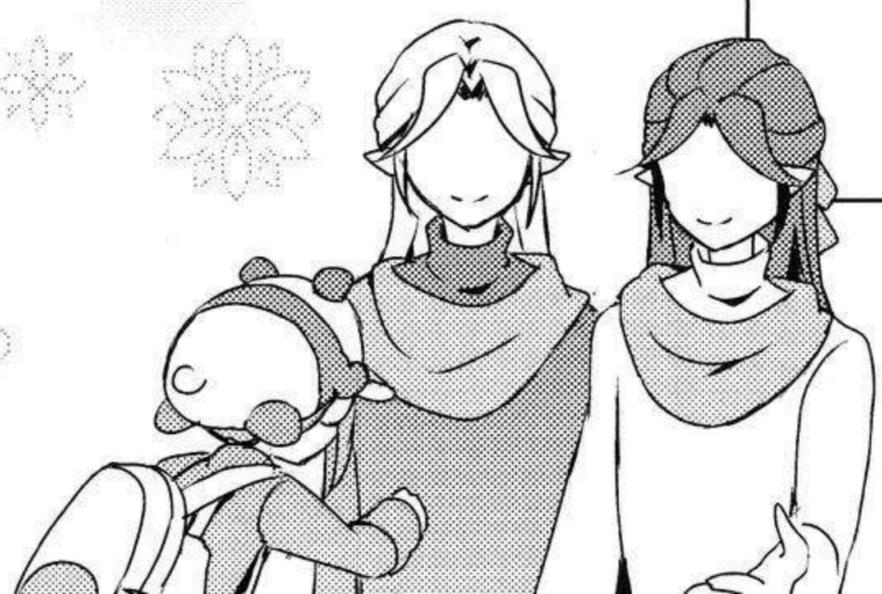
彼らの手をとった
としたらエマは
どうしなきゃいけない
んだろう…

もし
ここにいられなく
なったりしたら…

エマは…

こんにちは

私達の
ガイドさん



いつもより心理面描写<ストーリー進行でお送りしました。
何をいいたいかと申しますとなんかすげべな本が出したいなあと思ってこの話を考えたのです。
信じてください(なんの弁明ですか)

多分私が一番描いてて発信している状態ってこの後のあれこれなんだろうねとふんわり
思っておりますが、こんな感じのお話でも楽しんでくれる方がおりましたら幸いです。
たまにやります。誰にだっていきなり牛丼食べたいときはありますからね。

それでは次の本にご期待ください。
お手に取っていただきありがとうございました！

あくや



Wavebox

ポジティブな感想があればこちらへ
ネガティブな感想は適当な紙に書いて本とともにお焚き上げください。
火災トラブルの責任は一切負いません。

発行日：2024/12/29
発行者：悪狐/あくや
Mail：sonata2702piano@yahoo.co.jp
X:@a_ku_ya
pixiv:356953
印刷：株式会社栄光 様

※この本は非公式ファンブックです。公式様とは一切関係ありません。
この同人誌のオークションやフリマサイトでの転売、中身を勝手に翻訳し転載等する行為は固く
禁止いたします。
内容の無断転載を見つけた場合1Pにつき10万円(JPY)をお支払いいただいた上削除いただきます。



IDV Unofficial Fanbook
Bian/ Wujiu
×
Emma

※未成年の方の閲覧は固く禁じます。